

1・ディレクトフォース

私はディレクトフォースで、新日鐵住金の本社へ訪問させていただきました。そこで私達は、新日鐵住金という会社の説明や、私達が在学している仙台第二高校の卒業生であり、新日鐵住金へ勤められている3人の先輩を含めた4人のお話を聞かせていただくとともに、仕事や勉強、人間関係などの質問をさせていただき、それを元に私達高校生が今出来ること、この先すべきことを考えるというとても貴重な経験をさせていただくことができました。

まず、会社の説明では、新日鐵住金は素材メーカーであるとともに、鉄鋼メーカーであることから、国際的な鉄鋼の需要についてのお話をきくことができました。また、新日鐵住金は鉄鋼メーカー別生産量で世界第二位である事をお聞きした時、この会社の偉大さを感じるとともに、その会社の本社に今自分がいるということのすごさを感じました。先輩方からのお話は、先輩方の高校時代の話から始まり、それから仕事の詳しいお話、それから仕事面白さややりがいを感じるということが違うことがはっきりとわかりました。

質問から将来を考えるには、新日鐵の社員2名の方に質問をさせていただき、話し合いを重ね、今の私達に必要な力、今後必要となる力をはっきりさせることができました。

一つ目は、時間の使いかたについてです。無駄な時間を削る力をつけることで高校生活での部活と勉強の両立に繋がるということがわかりました。

二つ目は、「今からできる事」についてです。社員の方のお話では、「チームワーク作り」だそうです。会社には大勢の社員がいるので、ほかの社員と協力することがとても大切になってくるそうです。

今回の経験で、会社というものを今までよりずっと身近に感じることができました。また、今すべきこと、今後すべきことがはっきりとしたため、数年後、立派な社会人になるためのやる気も出てきました。今回は本当に貴重な経験できました。ありがとうございました。

2・企業大学訪問

私は、将来研究者になりたいと志す7人と一緒に、千葉県にある東京大学宇宙線研究所へ行ってきました。そして、ガンマ線望遠鏡グループの中嶋大輔特任助教への質問をさせていただくことができました。さらにその後は、研究施設の見学をさせていただくことができました。

中嶋大輔特任助教への質問は、主に研究者という仕事に関するものが多かったです。これらの質問を通して研究者という仕事について改めて考えさせられました。

今回の中嶋特任助教への質問でわかったことは、とにかく「研究者は大変だ」ということです。研究者には英語、プログラミングなどの様々な能力が必要であり、やりたいことをする仕事だからこそ、結果を出さなければいけないというプレッシャーが大きいそうです。さらに、教授や准教授などの高い階級は枠が決まっているので、激しい競争となるそうです。そのような高い階級になるには「発想力」が必要であると中嶋特任助教はおっしゃっていました。

そのように大変な仕事である研究者にとって大切な能力の一つである「英語」。外国人の研究者とのコミュニケーションだけでなく、論文も英語で書かなければいけないので、必須のスキルだと言えます。その英語の勉強方法ですが、中嶋特任助教映画で勉強していたそうです。また、行き詰った時は、部屋の観葉植物に水をやるそうです。やはり、自分の好きなことをするのが良いようです。

研究施設の見学では、中嶋特任助教が関係者の一人となっている「CTA 計画」に使われる望遠鏡の一部を見せていただくことができました。この望遠鏡はとても巨大であり、高さ約1.5メートルの六角形の鏡200枚からできている世界最大級のガンマ線望遠鏡だそうです。私達は実際にその鏡を見せていただくことができました。その鏡はとても大きく、また、表面の凹凸が少なかったです。これは、正確なデータを得るためだそうです。

ほかにも、そのデータを取るための機器の一部も見せていただきました。研究者を目指す私達はとても興味をひかれ、楽しい時間を過ごすことができました。

この企業大学訪問を通して、私達のグループは研究者というものを今までより一層深く知ることができ、ますます研究者に興味をひかれたと思います。研究者に必要な能力などを知ること、自分たちが今後身につけておかなければならない能力、すべき事を知ることができ、研究者への道が見えたと思います。中嶋大輔特任助教、どうもありがとうございました。

3・OBOGによる懇談会

こんかいの「東大見学会」の企画で、「OBOGによる懇談会」というものが行われました。これは「弐高の卒業生で都内の難解大学の在學生と話をする」というものでした。難解大学の在學生の話をお聞くのはとてもいい機会でした。実際、今回の懇談会に来て下さった10数名の先輩は全員東京大学または一橋大学の在學生でした。法学部や経済学部、さらには大学院生の方もいらっしゃったので、大学生活や勉強についてさまざまな話を聞くことができました。

今回の懇談会では3人の先輩の話を聞く機会がありました。一人目は東大法学部の先輩でした。大学生活や大学受験についていろいろな質問がありました。その先輩は一浪して東大に入った先輩で、「浪人はしない方がいい」とおっしゃっていました。また、その先輩が東大を目指すようになった理由は驚きで志望校用紙を渡された時「書くのはただ」と思ったから書いたから、だそうです。さらに、その先輩は「英語と数学は頑張り」ともおっしゃっていました。先輩曰く、「国語、理科、社会は後からでも何とかなるが英語と数学は積み重ねだから」。高校一年生の私達にとっては具体的で、とても参考になりました残り2人の話も聞き、学習面や進路などで参考にしたいと思いました。ありがとうございました。